

神戸港

海から眺める

クルーズとワークショップ 2016年3月3日(木)

●クルーズ：13：00 から約 1 時間（神戸港振興協会の協力で神戸港の観光用クルーズ船を利用）

川崎重工業・造船所（神戸工場）～三菱重工業・神戸造船所（本工場）～神戸製鋼所・神戸製鉄所～コンテナバース・神戸航空貨物ターミナル～神戸空港～摩耶埠頭～新港突堤・倉庫群

●ワークショップ：14：20 頃から 16：00 まで 神戸港振興協会・ホール（神戸海洋博物館に隣接）

●申し込み：2月25日(木)までに近畿産業考古学会事務局へメールかFAXで ※乗船には保険の手続きが必須です 必ず事前にお申し込み下さい

Fax：072-978-3666 E-mail：kakimoto@cc.osaka-kyoiku.ac.jp 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1 大阪教育大学 垣本 徹 気付

●費用：無料

主催：大手前大学史学研究所 神戸港振興協会 近畿産業考古学会

海から眺める 神戸港

クルーズとワークショップ

日時：2016年3月3日（木）

主催：大手前大学史学研究所 神戸港振興協会 近畿産業考古学会



神戸港は古来、大陸や朝鮮半島との交流の拠点として栄えてきましたが、1868（慶応3）年の開港をきっかけにわが国を代表する国際貿易港として発展し、まもなく開港150周年を迎えることになります。港の発展とともに周辺で工業化も進み、造船・鉄鋼・車両などの重工業も集積してきました。しかし、近年、産業構造の変化、コンテナ輸送などの陸海物流革命、ウォーターフロント開発などにより、神戸港と周辺の工業地帯は大きく変貌しています。150年の港湾と産業の発展の歴史を刻む、港湾施設、造船所、工場などを海上から見学し、それらの歴史的な遺産としての価値を再発見することになります。

【スケジュール】

■神戸港クルーズ（13:00～14:00）

- 集合：中突堤中央ターミナル「かもめりあ」前、5番乗り場付近、12:40「ファンタジー号」に乗船
- 海上からの主な見学対象
 - ①川崎重工業・造船所（神戸工場）②三菱重工業・神戸造船所（本工場）③神戸製鋼所・神戸製鉄所④コンテナバース・神戸航空貨物ターミナル⑤神戸空港⑥摩耶埠頭⑦新港突堤・倉庫群など
- 案内・解説：森田 潔氏 [神戸港振興協会・参事]

■ワークショップ（14:20～16:00）

港湾や造船所・製鉄所などの事業に携わっておられた方々から、ご体験などを踏まえ、産業構造の変化・技術革新・震災などを経て、港湾、工場・造船所の事業や景観がどのように変遷したかなどについてお話をいただきます。最後に、史学研究所を中心に計画中の神戸港周辺工業地帯における産業遺産調査についてご説明し、ご協力の依頼をいたします。



- 会場：神戸港振興協会（入口は神戸海洋博物館の東隣）・ホール（神戸市中央区波止場町2-2、TEL 078-327-8981）
 - 報告者（報告時間は1人約20分、質疑応答も含む）
 - (1) 森田 潔氏 [神戸港振興協会]
 - (2) 岡本 洋氏 [元・川崎重工業（株）勤務、日本船舶海洋工学会関西支部]
 - (3) 藤村 洋氏 [元・三菱重工業（株）勤務、日本船舶海洋工学会関西支部]
テーマ：港の景観：変貌の事例、変わらない景観に貢献した鉄構事業、保存についての提案
 - (4) 溝口孝遠氏 [元・（株）神戸製鋼所勤務、日本機械学会関西支部、近畿産業考古学会]
テーマ：神戸製鋼所神戸地区における鉄鋼生産プロセスと工場立地の変遷
- （進行・まとめ）二階堂達郎氏 [大手前大学・近畿産業考古学会]



- 申し込み（定員：約50名）

2月25日（木）までに
近畿産業考古学会事務局へメールかFAXで
Fax：072-978-3666

E-mail：kakimoto@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
氏名（複数名可）・年齢・事故時の連絡先（以上必須）と所属を記入。
※保険手続きが必須ですので、必ず事前にお申し込み下さい。

- 費用：無料（保険料込）クルーズのみの参加は遠慮下さい。

● 中突堤へのアクセス

- ◆ 地下鉄・海岸線「みなと元町駅」より約5分
- ◆ 阪急「花隈駅」より約10分、阪神「西元町駅」より約10分
- ◆ JR「神戸駅」より約13分、JR・阪神「元町駅」より約15分
- ◆ シティ・ループバス「中突堤（ポートタワー前）」下車すぐ

